

## 平成29年度岡山県地域産業人材育成事業の取り組み

岡山県と公益財団法人岡山県市町村振興協会では、地域産業の推進役である県・市町村や産業支援機関の職員を対象として、政策立案能力の向上と、経営面の知識の習得を目的とした人材育成講座を開催しました。

この講座は地域産業振興の専門家がコーディネートする地域政策研究講座と、ビジネススクールで学ぶ経営知識の基礎の経営マネジメント講座の2講座を組み合わせて実施しました。

### ●地域政策研究講座

「思いの醸成や施策立案能力の向上」

- ① 先進事例の研究
- ② 先進地視察
- ③ 人脈の形成
- ④ 成果発表会

### ●経営マネジメント講座

「地域産業振興に必要な知識と経営センスの習得」

- ① クリティカルシンキング
- ② 経営戦略の基本概念
- ③ マーケティング
- ④ ビジネスモデルとアカウンティング
- ⑤ 経営の全体像

## ☆講座内容（カリキュラム）

地域政策研究講座・・・

経営マネジメント講座・・・

回	日程	テーマ	内 容
開講式 第1回	5月19日 (金)	基調講演 (13:00～14:50)	○ねらい…全国の先進事例を学ぶことにより、地域産業おこしの重要性を理解する。 ・基調講演 明星大学教授 関 満博 氏 「地域産業おこしと人材育成」
		オリエンテーション (15:00～17:15)	○ねらい…事業の趣旨、講座のねらいを理解し、講座への心構えなどを身につける。 ・講師 上山 紗緒里 氏 ((株)グロービス) 長崎 利幸 氏 ((有)アーバンクラフト)
第2回	6月2日 (金)	クリティカルシンキング	○ねらい…事象や相手の話をわかりやすく整理する方法を身につけ、説得力のあるコミュニケーション

		(9:15~17:15)	<p>ン力を付ける。</p> <p>・講師 高原 康次 氏 ((株)グロービス)</p>
第3回	7月6日 (木) 7月7日 (金)	【宿泊研修】 産業紹介 企業訪問の実践 (研修先:玉野市)	<p>○ねらい…地域に不可欠な企業等を訪問し、経営戦略、販路開拓の方法及び強み・弱み等を聞き出す行動力と能力を養う。</p> <p>・玉野市内の企業訪問</p> <p>・コーディネーター 長崎利幸 氏 (有)アーバンクラフト</p>
第4回	8月10日 (木)	経営戦略の基本概念 (9:15~17:15)	<p>○ねらい…経営戦略の基本的なフレームワークや戦略立案の思考プロセスを押さえる。</p> <p>・講師 平野 善隆 氏 ((株)グロービス)</p>
第5回	9月1日 (金)	マーケティング基本概念 (9:15~17:15)	<p>○ねらい…マーケティングを考える上で踏むべき思考プロセスや各プロセスにおける基本的な視点・定石を押さえる。</p> <p>・講師 平野 善隆 氏 ((株)グロービス)</p>
第6回	10月6日 (金)	ビジネスモデルと アカウントティング (9:15~17:15)	<p>○ねらい…会計を財務諸表に限定せず経営の全体像に絡めて学ぶことで、戦略と財務を一体として考える力を付ける。</p> <p>・講師 溝口 聖規 氏 ((株)グロービス)</p>
第7回	11月10日 (金)	地域産業振興の実践 力を学ぶ (13:00~17:15)	<p>○ねらい…自治体職員が実践する産業振興策に触れ、産業振興担当である当事者意識と地域活性化への関わり方を学ぶ。</p> <p>・講師 柏田 恆希 氏 (八王子市職員)</p> <p>・コーディネーター 長崎利幸 氏 (有)アーバンクラフト</p>
第8回	12月1日 (金)	経営の全体像 (9:15~17:15)	<p>○ねらい…企業の競争力構築のために必要な経営メカニズムを理解し、事業活動が一つのシステムとして機能するための論点を押さえる。</p> <p>・講師 渡辺 祐介 氏 ((株)グロービス)</p>
第9回	1月19日 (金)	プレゼンテーション (13:00~17:15)	<p>○ねらい…全講座を通して学んだ内容を活かし、それぞれの立場から提案する中小企業支援策あるいは地域活性化策を発表。</p> <p>・コーディネーター 長崎利幸 氏 (有)アーバンクラフト</p> <p>・発表会</p> <p>・修了式</p>

#### 【会 場】

第3回は、玉野市内、それ以外は、ピュアリティまきび

## ☆講座の概要

地域政策研究講座

◆第1回(5/19) 参加者：受講生 21名、聴講者 41名

基調講演要旨	自治体や商工会議所・信金・信組の若手職員が地域経営の担い手であり、起業するぐらいの気概が必要である。また、県・市町村には、国の補助事業をとってくるだけではなく、その地域の問題を洗い出し解決するための具体的プラン（政策）を自ら考え実行することが求められている。
講座開催のねらい	<p>◇県庁経営支援課</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・“地域への思い”を醸成する</li><li>・“説得力”を手に入れる</li><li>・“同じ志を持つ者のネットワーク”をつくる</li></ul> <p>◇(株)グロービス</p> <p>「経営マネジメント講座」参加にあたって</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・言葉にすること、発言することにこだわる</li><li>・課題発見・打ち手の方向性を考える力を身に付ける</li><li>・事前学習→議論→振り返り→実践の流れで力を付ける</li></ul> <p>◇(有)アーバンクラフト 長崎利幸氏【コーディネーター】</p> <p>「地域政策研究講座」のねらいとプレゼンテーション</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・首長の前でプレゼンして予算獲得するぐらいの高いレベルを目指す</li><li>・オリジナル性、地域課題の解決となる、実現可能性で評価し、上位3名の名前を発表する</li><li>・出来る限り出席し、好奇心豊かに学び、ネットワークを広げる</li></ul> <p>◇受講生自己紹介</p> <p>各自、自分を売り込む自己PRを1人3分で実施（長崎氏がアドバイス）</p>



(基調講演 明星大学 関光博 教授)



(有)アーバンクラフト 長崎利幸氏)



(受講生 自己紹介の様子)

◆第3回 (7/6~7 宿泊研修) 参加者：受講生 14名

1日目

◇玉野市の産業紹介

講師：産業振興部商工観光課 石原 弘之 氏

◇講演「玉野市アイドルグループ「TMN4.8」のキセキ」

講師：産業振興部商工観光課 三宅 敦士 氏

◇企業訪問注意事項

(有)アーバンクラフト 長崎利幸 氏

◇企業訪問①：三井造船特機エンジニアリング (株) (全員で訪問)

2日目

◇企業訪問② (4班に分かれて訪問)

- ・(株)宮原製作所
- ・金田コーポレーション(株)
- ・(株)ドウ・ワン・ソーイング
- ・(株)桂スチール

◇グループ発表

◇長崎講師講評

【受講生アンケート一部抜粋】

◆玉野市の産業紹介・三宅氏の講演

玉野市の特徴ある産業構造がわかりやすかった。

市の現状を分析し足りない部分を伸ばすための施策など、しっかり取り組んでいる印象を受けた。市役所職員でアイドルグループを結成するというアイデアが素晴らしく、しかもお金もかからない理想的な地域おこしの方法だと思う。

◆企業訪問

説明をしてくださった担当者の方から、地元の産業を支えているという誇りを感じることができました。就職を希望する人には会社の概要や製品の説明以上を聞くことより、今後をよりイメージできる重要なものだと思います、当市で説明会などを開催する際は参考にしていこうと思いました。

◆グループ発表を終えて

同じ訪問先でも、人やグループによって着目点の違い、面白かったです。また、普段の業務では人前で発表する機会があまりないので、とてもいい機会でした。

発表内容をまとめる作業の中で、同じ企業で時間を過ごしていても、個々で観点や問題とする点が違うことを感じました。そして、それぞれの意見を尊重しながら考えをまとめていくことの難しさなどを通じ、チームというものを実感できました。



(玉野市の産業紹介の様子)



(玉野市 三宅氏)



(企業訪問)



(グループ発表の様子)

◆第7回 (11/10) 参加者：受講生 16名、聴講者 21名

◇柏田 恆希 氏 講演 「産業振興革命 ～地方公務員の使命～」

◇座談会

◇プレゼンテーションのテーマ発表等

【受講生アンケート一部抜粋】

◆柏田氏の講演

目先の取組ではなく、自分の誰のために仕事をするか、何のために仕事をするかという、広い視点で取り組んでおられたことが非常に印象的でした。空き家業務をしている関係で、直接所有者と話し合いながら空き家を減らしていく現場重視の取組は目新しかったです。空き家撲滅プロジェクトも、行政が単独で取り組むのではなく、行政と民間で必要な部分を協力しながら取り組んでおり、参考になりました。

◆プレゼンテーションのテーマ発表等

長崎講師の的確な意見を受けて修正するポイントを把握した。



(柏田課長補佐の講演の様子) ↑ ↓



(プレゼンテーションテーマ発表の様子) ↑ ↓



### 経営マネジメント講座

この講座は、個々人が開催日の1か月前から事前課題（設問）に取り組み、当日はその設問について、自分の考えを述べ、各グループで討議し考えを深めるというスタイルで進められた。

#### ◆第2回（6/2） 参加者：受講生 18名

【1回目 テーマ：クリティカル・シンキング】

ポイント

クリティカル・シンキングとは「自分自身がきちんと考えているかを、吟味しながら思考を進めること」を指す。

クリティカルシンキングを学ぶことは、昨今のビジネスを取り巻く環境や変化にすばやく対応できる。すべての人がそれぞれの立場で考え・判断し、新たな方向性を見いだせる。

- ・ 何のために考えるのか
- ・ 何を論じるべきか
- ・ 何を伝えるべきか



考える目的を押さえたうえで論じるべきことを明確な「問い」として考える手法をステップごとに修得する。



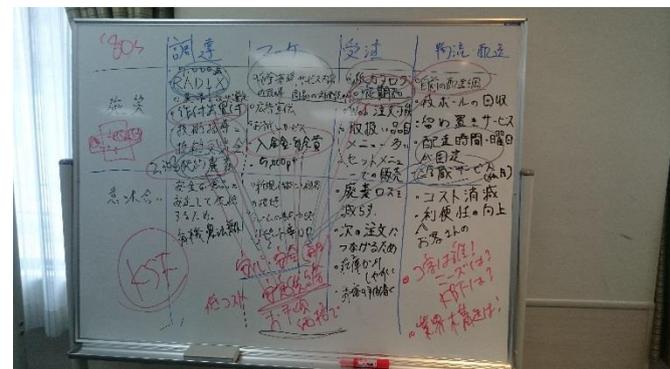
◆第4回 (8/10) 参加者：受講生 15名

【2回目 テーマ：インタラクティブ・レクチャー：経営戦略の基本概念】

ポイント

経営戦略の基礎を学び、フレームワーク（考え方や枠組み）を用いる方法を習得することで、企業へのサポート（アプローチ）の幅を広げることがねらい。

3C（市場・顧客（customer）、競合（competitor）、自社（company））分析  
ビジネス環境における自社の課題の発見や、自社の成功要因を導き出すフレームワークを学んだ。



◆第5回 (9/1) 参加者：受講生 17名

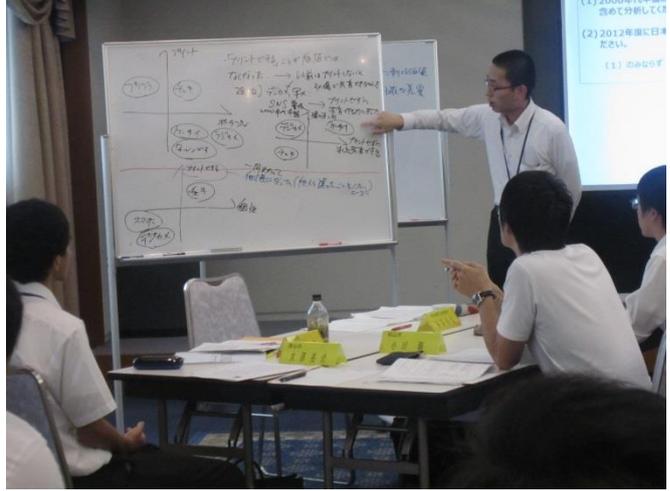
【3回目 テーマ：マーケティングの基本概念】

ポイント

マーケティングとは、“顧客に買ってもらえる仕組みをつくること” “誰にどんな価値を打ち出

すか”といった、世の中の動き・顧客をしっかりとみて先読みをすることである。

業界で生き残っていけるのか、利益を上げられるのか、会社を成長させられるのか、これらを考えることが大きな目的であり、その中で、顧客に良い商品を伝えるための思考プロセスを体系的に学ぶことも目標として学んだ。



#### ◆第6回 (11/4) 参加者：受講生 14名

【4回目 テーマ：ビジネスモデルとアカウンティング】

ポイント

財務諸表を作成する知識を習得するのではなく、財務諸表の数値を見て、その企業の活動がどのような形で数字として表れているか見ていき、企業の活動状況を理解することを目的に実施した。

経理スタッフとしての立場ではなく、経営にどう役立てていくかを考えられるように意識することを学んだ。

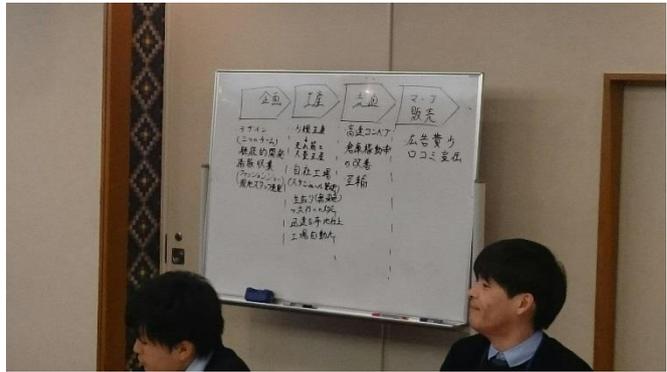
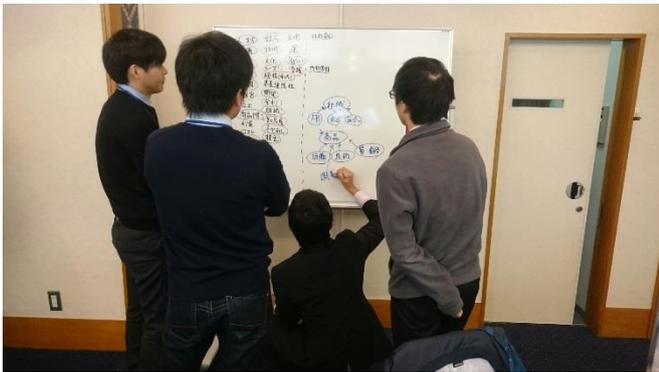


A社		B社	
売上高	100.0	売上高	100.0
売上総利益	59.4	売上総利益	70.8
営業利益	17.4	営業利益	11.8
経常利益	17.2	経常利益	12.2
当期純利益	9.7	当期純利益	6.6

◆第8回 (12/1) 参加者：受講生 18 名

【5 回目 テーマ：経営の全体像】

<p>ポイント</p>	<p>今まで学んできた「ロジカルシンキング」、「マーケティング」、「財務」などは経営の一側面であり、1つだけで企業を判断することは出来ない。 全てを総合的に判断できるような視点を常に持ち続けることの重要性を事例を交えて学んだ。</p>
-------------	---



●成果発表会（プレゼンテーション）●

◆第9回 (1/19) 参加者：受講生 18 名、聴講者 31 名

<p>概要</p>	<p>全講座を通して、地域に対する思いやりの醸成や地域産業振興に必要な知識と経営センスの習得を目指してきた。これらを踏まえ、成果発表会では、施策立案のプレゼンテーションを行った。</p>
<p>中間報告時 第7回 (11/10) 長崎講師からのアドバイス</p>	<p>自身の業務の課題や説明だけにならないよう、自分のアイデアをしっかりと組み込んで、波及効果や実用的、数字的根拠も盛り込むこと。最終目標やターゲットを明確にすることも重要。予算をつけてもらえるくらいの政策提言を行うこと。</p>
<p>成果発表</p>	<p>中間報告時の長崎講師からのアドバイスを元に、経営マネジメント講座で学んだ内容を随所に取り入れたものとなっていた。また、目的の違う二つの講座を組み合わせることによって、相乗効果が得られる結果となった。</p>
<p>長崎講師の講評 ※受講生1人1人への講評と全体講評</p>	<p>全体講評として、年々プレゼン能力は上がってきている。(イメージが沸きやすく、見せ方が上手かった。) 産業担当の職員として、1年の経験が役に立ったなと思えるときがきたら実施した甲斐があった。講座は終了するが、ここからがスタートである。多くの経験を積み、これからも地域のために頑張ってもらいたい。</p>

